

The annual ISES(International Society for Exposure Science) meetingに参加しました

メディカルサポートセンター 目澤秀俊

2015年10月18日から22日にアメリカのヘンダーソンで行われた the 25th annual ISES (International Society for Exposure Science 国際曝露学会) meetingに参加しました。

ISESは生活の中で人々が受ける”曝露”をどのように測定するか、推定するか、その結果をどう生かすかなど様々な分野の専門家が一堂に会する場です。その“曝露”の中にはエコチル調査で主なターゲットとしている化学物質も入っています。エコチル調査では、ECHIBCG(Environment and Child Health International Birth Cohort Group, 大規模出生コホート調査に関する国際作業グループ)に参加し、エコチル調査が国内だけでなく国際的に貢献するにはどのような活動を行っているかを継続的に議論しています。ISESでは、ECHIBCGの進行状況や国際間で化学物質測定法のばらつきをどのようにコントロールしていくかについてのセッションをアメリカ、フランス、ドイツの研究者とともに行いました。エコチル調査からは、愛知ユニットセンター長上島先生が司会を、コアセンターの中山先生がエコチル調査の現状の発表を行いました。各国から多くの研究者が参加され、国際連携を行っていくための環境化学物質の測定・評価とその活用をどのように行っていくかに関して意見交換が行われました。

セッション International Comparison of Chemical Exposures During Pregnancyの様子

